

## 6 自治の力みなぎる県づくり

### 地域の自治力向上支援

#### ◆共助により誰一人取り残すことのない地域防災体制を構築するなど、住民主体の地域課題解決の取組を支援

(新) 地域防災力の強化 1530万円 ⇒ 資料1-3 危機管理部 No.4、健康福祉部 No.25の一部、建設部 No.7

住民主体で避難が安全・確実に行われるよう、防災力向上プログラムを策定し市町村に提供するとともに、地域における「災害時住民支え合いマップ」、「地区防災マップ」の作成等を支援

地域課題解決のための人材育成 1303万4千円(952万円) ⇒ 資料1-3 企画振興部 No.4

県採用地域おこし協力隊員の新規配置、主体的に地域づくりを担う人材の育成を支援

### 県庁の自治力強化

#### ◆急速に変化する社会情勢に即した政策を進めるため、県民起点の観点から対話の質と機会を充実するとともに、国内外の先進事例を県政に積極的に取り込み、「学ぶ県組織」への転換を加速化

##### 《職員の政策力の向上》

(新) 対話重視の政策形成の推進 150万8千円 ⇒ 資料1-3 総務部 No.2

県が取り組む政策の現状や課題、方向性について、政策に関係する分野の当事者との意見交換を公開で実施

海外での職員研修 986万3千円(754万1千円) ⇒ 資料1-3 総務部 No.3の一部、産業労働部 No.12の一部、林務部 No.5、教育委員会 No.8の一部

海外の先進事例を県政に取り入れるため、県職員や教員の海外での学びの機会を拡充

・オーストラリアでのワイン醸造技術修得、・フィンランド・オーストリアでの林業技術交流、・アメリカでの先進的教育手法修得 など

##### 《県庁のしごと・働き方改革》

スマート県庁の推進 3700万4千円(1566万3千円) ⇒ 資料1-3 企画振興部 No.12

・RPA適用業務を拡大(3→30業務)、AIの導入検討

・モバイルパソコンへ順次移行し、ペーパーレス化や場所・時間にとらわれない多様で柔軟な働き方を実現

・「先端技術活用推進課」を新設し、先端技術を活用した新たなサービスの社会実装を推進

### ◆ 誰もが主体的に学び、多様な主体が協働しながら地域の課題解決に自ら取り組む「学びと自治の県づくり」を進めるとともに、地域の個性を活かした特色ある地域づくりを支援

学びと自治の県づくりの推進 624万円(104万8千円) ⇒ 資料1-3 企画振興部 No.1

「学び」の持つ力を有識者等との語りを通して幅広い県民と共有するフォーラムや地域ワークショップを開催

みんなで学び・守り・育てる森林づくり～森林づくり県民税活用事業～ 7億8994万9千円(7億5247万8千円) ⇒ 別添資料④ P16

森林を活かした学びを進めるため新たにエコツーリズムや自然・野外教育に携わる人材の育成に取り組むほか、危険木の除去等の新たなニーズへ対応するとともに、「防災・減災」、「地域住民による利活用」のための里山整備を着実に実施

地域振興局を核とした地域づくり 9億5112万9千円(9億5102万2千円) ⇒ 資料1-3 企画振興部 No.3

地域発 元気づくり支援金(8億5000万円)、地域振興推進費(1億円)を前年度同額確保、これらと関係部局の予算を組み合わせた事業のパッケージ化や、地域振興局同士の共同提案により、特色を活かした地域づくりを推進

【パッケージ例】 ⇒ 資料1-5

地域振興局	パッケージの内容
諏訪	AIを活用した諏訪湖の水環境保全、サイクリングロードの整備など諏訪湖創生ビジョンの推進
南信州	農業、食品製造、観光の三位一体となった産業振興を目指す「シードル」の特産化
木曾	御嶽山を訪れる観光客・登山者の安全確保のための施設整備・火山防災知識の普及啓発
松本	牛伏川階段工などの近代化遺産の整備と観光資源化
北信	克雪住宅の普及や除雪ボランティアの育成など豪雪地帯で安心して生活できる基盤の構築

# みんなで学び・守り・育てる森林づくり

—森林づくり県民税活用事業—

別添資料④

森林を活かした学びを進めるため新たにエコツーリズムや自然・野外教育に携わる人材の育成に取り組むほか、危険木の除去など新たなニーズに対応するとともに、「防災・減災」、「地域住民による利活用」のための里山整備を着実に実施

## 1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備

4億9615万円（5億2159万8千円）

間伐の必要性が高い森林や河畔林の整備、地域住民の主体的な参画による里山資源の利活用を促進

4億2905万円【林務部】【建設部】

集落や主要ライフライン（道路・線路・電線等）を守るため、倒木の恐れのある危険木の除去を新たに実施 等

5500万円【林務部】【建設部】

※ 5500万円は4億2905万円の内数

## 2 自立・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用

6405万円（6309万円）

キッズスペース等子どもの居場所の木造・木質化や木製家具・木のおもちゃ等の設置を支援

2375万円【林務部】

薪の地域流通・利用の仕組みづくりや、松くい虫枯損木のバイオマス利用を促進

2175万円【林務部】 等

## 3 森林づくりに関わる人材の育成

791万1千円（450万7千円）

（新）自然の魅力・森林の多面的機能を伝える担い手「エコツーリズムガイド」を育成

167万2千円【環境部】

（新）自然教育プログラムの実践・検証をモデル校で実施

116万3千円【教育委員会】

等

## 4 多様な県民のニーズに応えるための森林の利活用

1億1989万4千円（6124万5千円）

地域から要望の多い景観対策としての森林整備を充実、高速道路沿線の松くい虫被害による枯損木の伐採を新たに実施

3500万円【林務部】

森林セラピー基地を安全に利用できるよう、支障木等の伐採や歩道・案内板等の整備を支援 等

3584万4千円【林務部】

※ 森林セラピー推進支援事業で予定していた整備を前倒して行います。

## 5 市町村に対する財政調整的視点での支援

9000万円（9000万円）

地域固有の森林づくり等の課題に対する市町村の取組を支援

9000万円【林務部】

## 6 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証

1194万4千円（1203万8千円）

森林税の活用内容の広報、県民会議における森林税の評価・検証等を実施

1194万4千円【林務部】



平成31年度予算額 7億8994万9千円

（平成30年度予算額 7億5247万8千円）